受注企業動向調査結果

－2025.6－

■調査時点　令和7年6月調査（令和7年6月末時点）

■対象企業　150社

■調査時期　4半期毎（3、6、9、12月末時点）

■回答企業　106社（回答率：70.67%）

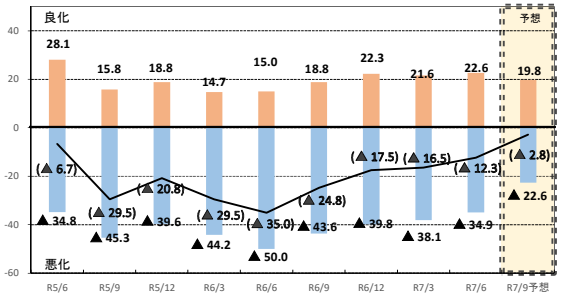
DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

＜業種内訳＞

プラスチック	11 社
鉄鋼・非鉄	5 社
金属製品	25 社
一般機械器具	24 社
電気機器	20 社
輸送用機器	5 社
精密機器	9 社
縫製	7 社
計	106 社

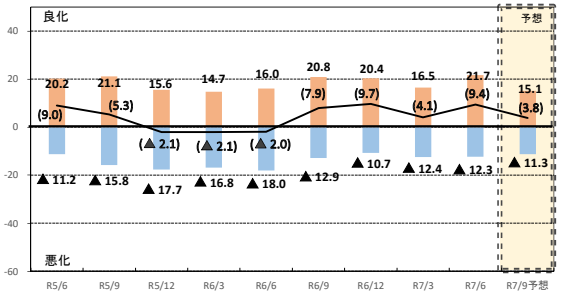
●生産高

前年同月比



●受注単価

前年同月比

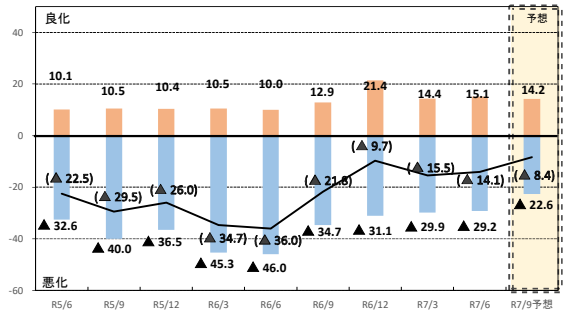


		R5/6	R5/9	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9予想
生産高	前年同月比	▲ 6.7	▲ 29.5	▲ 20.8	▲ 29.5	▲ 35.0	▲ 24.8	▲ 17.5	▲ 16.5	▲ 12.3	▲ 2.8
受注単価	前年同月比	9.0	5.3	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.0	7.9	9.7	4.1	9.4	3.8

悪化 回答率
良化 回答率
DI値

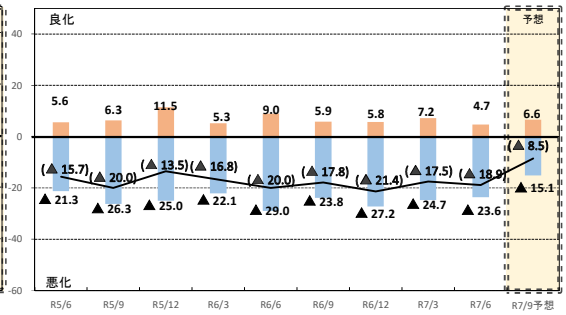
●稼働状況

前年同月比



●資金繰り

前年同月比



		R5/6	R5/9	R5/12	R6/3	R6/6	R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9予想
稼働状況	前年同月比	▲ 22.5	▲ 29.5	▲ 26.0	▲ 34.7	▲ 36.0	▲ 21.8	▲ 9.7	▲ 15.5	▲ 14.1	▲ 8.4
資金繰り	前年同月比	▲ 15.7	▲ 20.0	▲ 13.5	▲ 16.8	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 21.4	▲ 17.5	▲ 18.9	▲ 8.5

悪化 回答率
良化 回答率
DI値

●概要（総合）

・生産高（前年同月比）DIは▲12．3で、前回の▲16．5から4．2ポイント増となった。

・受注単価（前年同月比）DIは9．4で、前回の4．1から5．3ポイント増となった。

・稼働状況（前年同月比）DIは▲14．1で、前回の▲15．5から1．4ポイント増となった。

・資金繰り（前年同月比）DIは▲18．9で、前回の▲17．5から1．4ポイント減となった。

・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲2．8、受注単価は3．8、稼働状況が▲8．4、資金繰りは▲8．5という予想になった。

・その他自由意見として、

【一般機械器具】
・仕事は集まってくるが、人が来ないので受けられない状況。
・受注については大きく回復しているが、トランプ関税の影響が見通せず先行きは不安。
　一方で円高にふれているので材料費が減少し助かっている部分もある。
　価格転嫁については最早お願いベースから応じてもらえない場合、撤退する方向で客先と交渉を開始した。
【金属製品製造】
・仕入・経費の高騰分を受注単価に認めてもらえなく苦慮しております。
【プラスチック】
・注文数が昨年より3％～4％位は減っている。減っている分補う新しい分野を探さないといけない。
【精密機器】
・メーカーの受注がトランプ関税の影響か鈍化傾向。
【縫製】
・賃上げ、値上げの分を加工賃に上乗せしているが、それ以上に経費が増えている。
【輸送用機器】
・状況は今のところ同じ。半年先あたりから売上が上がる予定。
　資金繰りについてはコロナ時に借入が増加、当時の予定では特に問題ないレベルでしたが、
　取引先のトラブルによる売上減が厳しい状況のまま、現在に至る。

　という意見が寄せられた。